

研究課題名	椎体破裂骨折に対する後方単独矯正固定術 の治療成績
実施責任者	所属・職名： 脳神経外科 医長
	氏名： 福岡 俊樹
研究の概要	脊椎椎体破裂骨折に対して、医療機器の進化により、従来の椎体を前方（腹部）を開創して修復することなく、後方からスクリューを用いて強固に矯正することで良好な椎体整復術が可能となってきました。この低侵襲な手術手技の治療成績について調査します。
対象となる個人情報	年齢、性別、椎体骨折の高位、手術前後のレントゲン、CTなどの画像所見
実施の期間	西暦 2010年 1月 1日より
	西暦 2024年 12月 31日まで
研究対象	上記期間に当院で後方単独矯正固定術を受けられたすべての患者様